

学会では、研究活動の活発化のために、会員の研究を多数学会誌に掲載したいと考えております。以下の要項に従ってご審査頂きたくお願い申し上げます。

1. 以下に従ってご審査頂き、著者へのコメントに審査所見をご記入下さい。
  - (1) 下記 2. 審査の観点に沿ってご審査頂き、十分でないところを修正箇所としてご指摘下さい。
  - (2) 審査所見は、総合的な所見と、具体的な個々の修正箇所のご指摘を分けてお書き下さい。
  - (3) 審査をお願いするのは原則 2 回以内です。1 回目に指摘箇所をすべて挙げて頂き、2 回目は 1 回目の指摘に対する修正の有無についてご審査下さい。ただし、1 回目に指摘したことによる訂正の結果、新たな指摘が発生した場合はこの限りではありません。
  - (4) 近年新しい研究方法や理論、新たな研究視点の論文が多数投稿されています。これらの芽を育てる方向で審査をお願い致します。基本的には論文の内容は著者の責任に帰します。主義主張や方法論の相違に関しては、掲載された論文への反論や批判という形で、公式の場での議論をお願い致します。
  - (5) 却下の場合は、下記 2. 審査の観点に準じて、却下の理由を投稿者に納得頂けるように具体的にご記入下さい。また、教育的な観点で、研究の発展や再投稿に役立つような具体的なご指摘をお願い致します。例えば、得られたデータをどのように組み立てれば論文として成立するかや、修正・追加すべき点をご指導下さいますと大変有り難く存じます。
2. 審査の観点
  - (1) 論文の内容について
    - ① 家政学\*1に関連のある内容か。  
 \*1 家政学とは、家庭生活を中心とした人間生活における人と環境との相互作用において、人的・物的の両面から自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。  
**すなわち、家政学は学際領域の学問ですので、基礎科学や既存の科学の理論のみで判断せず、総合科学の観点からご判断下さい。**
    - ② 研究の目的は明確か。
    - ③ 研究方法是適切か。
    - ④ 論文の構成は適切か。
  - (2) 英文要旨および和文要旨について
    - ① 英文・和文要旨は、論文の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書いてあるか。
    - ② 長さは適切か。英文は 150 語程度、和文は 300～600 字程度とする。
  - (3) 体裁について
    - ① 表題は内容を適切に表現しているか。
    - ② 長さは適切か。報文・資料は刷り上り\*210 頁以内、ノートは 6 頁以内を原則とする。  
 \*2 刷り上り 1 頁は、和文の場合 25 文字×47 行×2 段、英文の場合 50 文字×47 行×2 段相当。
    - ③ 図表は必要なもののみか、また書き方は適切か。
    - ④ 単位・記号の使い方は適切か。
    - ⑤ 引用文献の書き方は適切か。
    - ⑥ 文章が読みやすく、適切な表現になっているか。

なお、参考までに、論文の種類とその定義は以下の通りです。

- ・報文：新規性があり、価値ある事実あるいは結論を含むと認められる論文をいう。
- ・ノート：報文として十分な結論を得るには至らないが、限定された部分の発見や、新たな研究方法などを含む内容あるいは問題提起的内容をもつ論文をいう。
- ・資料：研究結果(データ)の報告に重点を置いたもので、研究の資料として役立つ論文をいう。

投稿論文の分類の目安

論文種別	家政学および関連領域の発展に寄与する	新規性があり、価値ある事実あるいは結論を含む	データ
報文	○	○	結論を得るに十分なデータがある
ノート	○	○	データが断片的である
資料	○		データの報告に重点がある